



証券コード：4584

Kidswell.Bio

# 子会社設立に関する補足説明資料

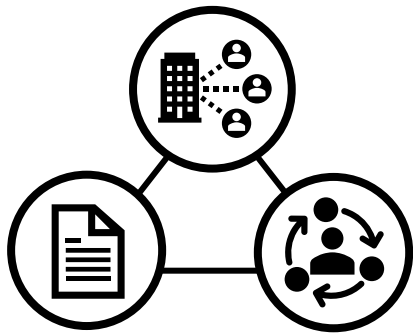
2024年1月12日

**バイオで価値を創造する**

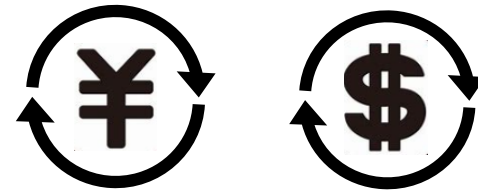
—こども・家族・社会をつつむケアを目指して—

**キッズウェル・バイオ株式会社**

## ① 経営資源の集中



## ② 資金調達手段の最適化



## ③ 事業価値の見える化



事業価値の最大化と株価の回復・向上の実現

## 2023年末までの事業進捗

### バイオシミラー事業

- パートナー企業との共同開発により、4 製品を上市
- 第 5 製品目以降についてパートナー候補企業との協議を開始

### バイオ新薬事業

- 一部のプロジェクトについては研究成果に基づき特許出願完了

### 細胞治療事業

- 第一世代SHEDで臨床開発入り
- 第二世代SHED等についても研究が進捗

“選択と集中”

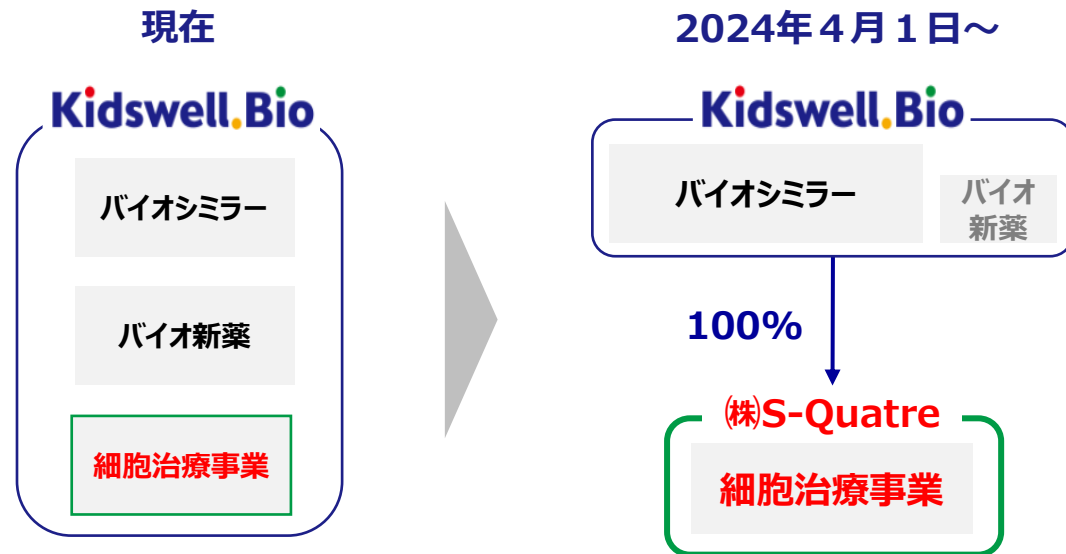
- 3 事業（バイオシミラー、バイオ新薬、細胞治療）に分散していた経営資源（人財、資金）を、
  - 安定的な収益基盤事業として確立されたバイオシミラー事業
  - 成長基盤事業として研究開発活動の進捗がより顕著な細胞治療事業に集中的に投下し、経営資源のより効率的な活用と事業価値向上の加速を目指す
- バイオ新薬事業は、外部との連携・協業に向けた事業開発活動に当面専念

## ②資金調達手段の最適化と③事業価値の見える化

- バイオシミラー事業と細胞治療事業を別会社とすることで両社の業務内容がシンプルになり、
  - それぞれの事業特性や資金使途に応じた資金調達手段を遂行
  - 事業ごとの業績開示による“事業価値の見える化”が向上
- なお、新会社においては、事業会社やベンチャーキャピタルとの提携を含めた新会社独自の柔軟な資金調達を遂行予定（資金調達手段の多様化）

	当社	新会社 (株)S-Quatre
コア事業	バイオシミラー事業	細胞治療事業（SHEDの研究開発）
事業の意義・戦略	収益確保事業 新たな製品開発による収益性拡大	成長基盤事業 先端モダリティへの先行投資による先駆者利益獲得
事業特性 資金調達手段（資金使途）	ミドルリスク、ミドルリターン デットファイナンス（製造資金）	ハイリスク、ハイリターン エクイティファイナンス（研究開発資金）
主要IRイベント	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 上市済み4製品の収益拡大</li> <li>• 新規プロジェクトに関するパートナー企業との契約締結</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 第一世代SHEDの臨床開発の進捗</li> <li>• パートナー企業等との契約締結</li> <li>• 第二世代SHED等の研究の進捗</li> </ul>

- 将来の成長事業として研究開発を進めている乳歯歯髄幹細胞（SHED）を基盤とした細胞治療事業を当社から切り離し、新たに設立する新会社へ承継
- SHEDの安定供給プラットフォーム「S-Quatre®」を基盤とするSHEDの研究開発をコア事業とすることから、社名を“株式会社S-Quatre（エスカトル）”と命名
- 当社の100%子会社として、2024年4月1日に設立予定



新会社の概要	
商号	株式会社S-Quatre（エスカトル）
所在地	東京都中央区新川一丁目2番地12号
設立	2024年4月1日（予定）
資本金	5,000千円
代表取締役 取締役 監査役	三谷 泰之 川上 雅之、紅林 伸也 菅原 治
コア事業	細胞治療事業（SHEDを基盤とした研究開発）

新たなグループ組織（当社／(株)S-Quatre）の下、  
将来の企業価値向上に向けた取り組みを追求し、KIDS WELL, ALL WELLを実現する

Kidswell.Bio

バイオシミラー事業

- ・ 上市済み 4 製品の安定供給による収益の最大化
- ・ 新たなバイオシミラーの開発によって更なる成長を目指す（5 製品目以降の開発）

(株)S-Quatre

細胞治療事業（再生医療）

- ・ SHEDの安定供給プラットフォーム  
「S-Quatre®」を基盤とした事業展開の強化
- ・ SHEDによる細胞・遺伝子治療製品等の早期創出を目指す

# KIDS WELL, ALL WELL

こどもの力になること、こどもが力になれること

Kidswell.Bio



本資料はキッズウェル・バイオ株式会社（以下、当社という）をご理解いただくために作成されたものであり、投資勧誘を目的として作成されたものではありません。

本資料に含まれている今後の戦略・計画、将来の見通し及び その他将来の事象等に関する記載には、本資料の発表時点において合理的に入手可能な情報に基づく当社の仮定、見込み等が含まれます。そのため、実際の業績、開発進捗等は、今後の研究開発の成否や将来における当局の対応、事業パートナーの状況等、現時点では不明又は未確定な要因によって、本資料の記載とは異なる結果となる可能性があります。